

(別紙 1-1・1-2)
2019 年度の事業報告書

2019 年 1 月 1 日から 2019 年 12 月 31 日まで

特定非営利活動法人日本芸術家協会

1 事業の成果

令和 1 年度の主たる事業活動の成果として、東京都美術館の第 42 回 JAG 公募展（本展）と 2019 春季 JAG 展&小品展が事業の主展覧会である。事業の成果を推進する活動として、JAG 展は一般公募を軸に、春季展をきっかけに広く呼び掛けてきた。SNS による広報を主体に、活動内容と全出展作品の掲載を実行し、出展者の作品発表の機会を重ねてきた。会員有志による絵画教室、スケッチ会、デッサン教室など、担当する熱意あるメンバーの地道なボランティア活動により、協会の大事な普及活動基盤を支えていて、且つ地域への貢献の一翼を担っている。限られた予算の中、公募から新会員までのアプローチは今後も厳しい道程である。若い年齢の出展をすべて無料に、の方針は継続しており、6 期続いている学生グループの果敢な公募出品については、前年度にグループ出品した学生が今期単独出展をし、仲間同士が創造性を競い合い、複数の優秀な作品の出展を評価された。地味ではあるが、若い芽のパワーと活力を大事に育みたい。将来に渡り時間がかかるが、活動成果に結びつくよう努力研鑽を積み重ねていく所存である。

2 事業の実施に関する事項

特定非営利活動に係る事業

事業名	具体的な事業内容	(A) 当該事業の実施日時 (B) 当該事業の実施場所 (C) 従事者の人数	(D) 受益対象者の範囲 (E) 人数	活動計算書の事業費の金額 (単位:千円)
① 展覧会の開催事業	2019 春季 JAG 展&小品展。JAG 本展一般公募に応募される方の導入と自由な発想、JAG 本展では更なる展開を	(A) 4 月 9 日-15 日 (B) 横浜市民ギャラリーあざみ野 (C) 延 60 名	(D) 一般、会員 (E) 70 名	356
	第 42 回 JAG 展。公募展として一般より作品を公募し、優秀な作品を展示、賞を与えて、研鑽と次ステップのきっかけを提供する	(A) 11 月 9 日-16 日 (B) 東京都美術館（上野） (C) 延 80 名	(D) 公募、会員 (E) 110 名	1917
② 普及事業	絵画教室 人物画制作特別企画	(A) 毎月 1 回開催 (B) 横浜市民ギャラリーあざみ野 (C) 各回 2~3 名	(D) 一般、会員 (E) 各回毎約 20 名~25 名 ※以下教材費実費等別途	21
	スケッチ会	(A) 3/7, 9/25 (B) 横浜市青葉区、子供の国、相模原市緑区、清流の里 (C) 各回 10 名~15 名	(D) 一般、会員 (E) 各回毎約 10~15 名	

↓ 次ページに

	<p>絵画教室 水彩画同好会 絵画芸術を考える</p>	<p>(A) 各教室：金曜日と火曜日（月2回） (B) 青葉区文化センター、アートファーマムあざみ野他 (C) 各回3名</p>	<p>(D) 一般 (E) アートファーマムあざみ野 金曜日8名 火曜日8名 青葉区文化センター 金曜日7～8名</p>	
③広報啓発事業	<p>ホームページに展覧会開催他、活動スケジュール広報、および展覧会展示全作品の写真掲載</p>	<p>(A) 2019 春季 JAG 展、第42回 JAG 展出品作品を掲載、過去ログ作品閲覧 (B) www.jag-ten.jp (C) 2名</p>	<p>(D) 会員、一般、公募 (E) SNS による多方面への認知、確認、応募のきっかけが、年々増えつつある。諸活動の有益なきっかけにしたい</p>	134